

2020年度入学試験問題（推薦入試）

小論文（国語教育コース）

出題意図及び正答

問題

出題意図

問題内容を正確に理解した上で、自分が思考・判断した内容を論理的・主体的に述べられるかを問うている。

正答

略

2020年度入学試験問題

小論文

(国語教育コース)

注 意 事 項

1. この問題用紙は試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答用紙は問題用紙とは別になっています。解答はすべての解答用紙の指定されたところに記入しなさい。それ以外の場所に記入された解答は、採点の対象となりません。
3. 受験番号を解答用紙の指定されたところへ正しく記入しなさい。
4. ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、監督者に申し出なさい。
5. 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、破いたり切り離したりしてはいけません。
6. この問題用紙と下書用紙は持ち帰ること。

【問題】

以下の「作文A」「作文B」は、いずれも「人から受けた優しさや思いやり」をテーマとする作文コンクールに提出された、中学校第2学年の生徒の作文です。あなたはコンクールの審査員として、「作文A」「作文B」のどちらかひとつを「入賞作品」として選ばなければいけません。

あなたはどちらを選びますか。以下の条件に従いながら、考えを述べなさい。

- ① 三段落構成で論述すること。
- ② 第一段落では、普段あなたが作文の良し悪しを判断する上で最も重視していることについて述べること。なぜそれが重要なのかについても説明すること。
- ③ 第二段落では、前段落で述べた作文観をもとに、「作文A」「作文B」のどちらの作文を「入賞作品」とするか、自身の判断を明示すること。
- ④ 第三段落では、なぜそのような判断をしたのかについて、「作文A」および「作文B」双方の一部を根拠として引用しながら説明すること。

作文 A

【出典】

わたしのうけた「小さな親切」

平成30年度「小さな親切」運動作文コンクール入賞作品集
「小さな親切」運動 長野県本部, 2018年, pp. 51-52

作文 B

【出典】

じいちゃんの親切 じいちゃんの思い

平成30年度「小さな親切」運動作文コンクール入賞作品集
「小さな親切」運動 長野県本部, 2018年, pp. 54-55

(「作文 A」「作文 B」のいずれも、設問上の必要性から出典は明示しない。)